



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ

コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理部長

(氏名) 野田 哲

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,092	△5.0	935	△9.3	936	△9.3	641	△5.1
27年3月期第2四半期	4,307	8.6	1,032	8.9	1,032	8.9	676	12.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	73.26	—
27年3月期第2四半期	77.19	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,914		12,609		84.5	
27年3月期	15,693		12,344		78.7	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 12,609百万円 27年3月期 12,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	43.00	43.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,803	13.5	2,511	8.2	2,514	8.2	1,596	7.4	182.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	8,760,000 株	27年3月期	8,760,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	99 株	27年3月期	99 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,759,901 株	27年3月期2Q	8,759,942 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復の基調を維持しつつも、中国経済の減速懸念や、米国における金融政策正常化への動向など、先行きの不透明感は依然として強く、予断を許さない状況で推移しました。

国内医療業界では、政府による「骨太の方針」において医療サービスの合理化、適正化が改めて提唱されるなど、社会保障費の増加抑制が政策課題とされる中、医療においてもより効率的で持続可能性のある在り方を目指した制度改革が進んでおります。

このような経営環境の中で、当社では採血管準備装置の主力機種であるBC・ROBO-8000RFIDの更新需要を着実に補足しつつ、全自動尿分取装置UA・ROBO-2000RFID、RFID輸血管理・照合システムTRIPS Bt等の新規受注に注力してまいりました。

しかしながら、医療施設における設備投資への慎重姿勢が続く中、販売単価の大きい採血管準備装置関連製品の販売が伸び悩んだ影響から、当第2四半期累計期間の売上高は4,092,028千円(前年同期比5.0%減少)となりました。また、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比0.2ポイント減少し7.2%となりました。

利益面に関しては、販売の不調による減少に加えて、次期採血管準備装置の開発費が増加したこと等により、売上総利益は2,048,216千円(前年同期比2.9%減少)、販売費及び一般管理費は1,112,332千円(前年同期比3.2%増加)となり、営業利益は935,884千円(前年同期比9.3%減少)、経常利益は936,996千円(前年同期比9.3%減少)、四半期純利益は641,707千円(前年同期比5.1%減少)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,699,717千円(前年同期比15.7%減少)となりました。

当第2四半期において、国内大病院を中心に採血管準備装置の更新について慎重な姿勢があり、採血管準備装置の販売単価及び納入施設数が低下・減少いたしました。海外市場では、ヨーロッパでの販売が拡大したものの、アジアでの販売が低調であったために、国内市場における売上高は1,589,904千円(前年同期比14.8%減少)、海外市場における売上高は109,812千円(前年同期比27.1%減少)となりました。

・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は237,419千円(前年同期比3.5%増加)となりました。

国内市場においては、競合他社との競争の激化により、売上高は204,435千円(前年同期比2.3%減少)となりましたが、海外市場では、東南アジアをはじめとする新興国市場での販売が好調であったことから、32,983千円(前年同期比64.4%増加)となりました。

・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,097,053千円(前年同期比5.1%増加)となりました。

装置の累計納入台数に比例した底堅い伸長に加え、採血管準備装置RFIDラベルの売上増加があったことから、国内市場における売上高は1,943,970千円(前年同期比5.1%増加)、海外市場における売上高は153,083千円(前年同期比4.4%増加)となりました。

・その他

当第2四半期累計期間において、その他の売上高は57,838千円(前年同期比11.9%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は14,914,705千円となり、前事業年度末比778,766千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだことにより、売上債権が1,273,367千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は2,304,811千円となり、前事業年度末比1,043,798千円減少しました。これは主に、平成27年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が716,334千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は12,609,893千円となり、前事業年度末比265,031千円増加しました。これは主に、利益剰余金が265,031千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は84.5%となり、前事業年度末比5.8ポイント増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は6,087,406千円となり、前年同四半期累計期間比1,089,551千円の増加（前事業年度末比394,969千円の増加）となりました。

営業活動の結果、833,132千円の資金増加（前年同四半期累計期間は962,439千円の資金増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が936,996千円、売上債権の減少額が1,273,367千円になった一方、仕入債務の減少額716,334千円、法人税等の支払額453,627千円があったことによるものであります。

投資活動の結果、62,060千円の資金減少（前年同四半期累計期間は68,063千円の資金減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出60,292千円があったことによるものであります。

財務活動の結果、376,103千円の資金減少（前年同四半期累計期間は288,756千円の資金減少）となりました。これは、配当金の支払額376,103千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日付の平成27年3月期決算短信で発表した平成28年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,539,607	7,994,868
受取手形	694,260	613,911
電子記録債権	—	123,739
売掛金	4,139,903	2,823,145
商品及び製品	1,389,821	1,416,800
仕掛品	133,675	174,082
原材料及び貯蔵品	73,034	82,147
前払費用	11,447	22,174
繰延税金資産	116,907	96,234
その他	1,114	1,708
貸倒引当金	△61,475	△50,139
流動資産合計	14,038,297	13,298,675
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	893,704
減価償却累計額	△464,346	△477,922
建物（純額）	428,453	415,782
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,292	△3,343
構築物（純額）	785	733
機械及び装置	158,650	158,650
減価償却累計額	△50,824	△65,711
機械及び装置（純額）	107,825	92,938
工具、器具及び備品	101,426	102,326
減価償却累計額	△69,654	△74,435
工具、器具及び備品（純額）	31,772	27,891
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,356,163	1,324,673
無形固定資産		
特許権	1,350	1,009
商標権	666	566
ソフトウェア	27,814	23,891
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	31,008	26,646
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期未収入金	35,746	23,686
繰延税金資産	131,163	126,176
その他	129,328	131,024
貸倒引当金	△35,746	△23,686
投資その他の資産合計	268,002	264,710
固定資産合計	1,655,174	1,616,029
資産合計	15,693,472	14,914,705

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,121,731	1,405,397
未払金	81,028	120,575
未払費用	59,129	53,707
未払法人税等	464,377	282,685
未払消費税等	163,867	23,658
預り金	9,005	9,454
賞与引当金	113,650	107,551
役員賞与引当金	34,500	—
その他	1,104	1,580
流動負債合計	3,048,394	2,004,611
固定負債		
役員退職慰労引当金	250,085	259,405
製品保証引当金	40,787	31,406
その他	9,342	9,388
固定負債合計	300,215	300,199
負債合計	3,348,610	2,304,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	10,307,352	10,572,384
自己株式	△217	△217
株主資本合計	12,344,861	12,609,893
純資産合計	12,344,861	12,609,893
負債純資産合計	15,693,472	14,914,705

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	4,307,819	4,092,028
売上原価	2,197,608	2,043,812
売上総利益	2,110,210	2,048,216
販売費及び一般管理費	1,078,088	1,112,332
営業利益	1,032,122	935,884
営業外収益		
受取利息	757	890
受取配当金	27	0
その他	412	267
営業外収益合計	1,197	1,158
営業外費用		
支払利息	45	45
保険解約損	736	—
営業外費用合計	781	45
経常利益	1,032,538	936,996
税引前四半期純利益	1,032,538	936,996
法人税、住民税及び事業税	344,879	269,629
法人税等調整額	11,512	25,659
法人税等合計	356,392	295,289
四半期純利益	676,145	641,707

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,032,538	936,996
減価償却費	44,756	37,658
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,800	9,320
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△29,610	△23,395
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,682	△6,099
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△29,000	△34,500
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△7,380	△9,381
受取利息及び受取配当金	△785	△890
保険解約損益（△は益）	736	—
支払利息	45	45
売上債権の増減額（△は増加）	409,927	1,273,367
たな卸資産の増減額（△は増加）	85,050	△76,500
仕入債務の増減額（△は減少）	△98,873	△716,334
その他の資産の増減額（△は増加）	24,865	△992
その他の負債の増減額（△は減少）	25,678	△103,378
小計	1,469,431	1,285,915
利息及び配当金の受取額	785	890
利息の支払額	△45	△45
法人税等の支払額	△507,732	△453,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	962,439	833,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,273	△60,292
有形固定資産の取得による支出	△6,091	△1,804
無形固定資産の取得による支出	△4,025	—
差入保証金の差入による支出	△1,915	△2,076
差入保証金の回収による収入	1,519	2,113
保険積立金の解約による収入	2,724	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,063	△62,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△288,756	△376,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,756	△376,103
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	605,619	394,969
現金及び現金同等物の期首残高	4,392,235	5,692,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,997,855	6,087,406

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。